

● 7月4日（水） 晴 ニペソツ山（2013m）～ 層雲峡へ

○今日は昨年荒天のため途中で断念した「ニペソツ山」へ登る、リベンジだ！

・3時に目が覚めたら、長岡の3人パーティーはもうテントをたたみ朝食も済ませて出発の準備をしていた。いくら北海道の夏だといっても朝3時はまだ暗い。私は3時半に起床し朝食、トイレを済ませ出発の準備。宮崎のおじさんがやっと起きてきた。登山口まで車で20分余、長岡の連中はもう姿は無い。



登山口駐車場



登山口：この沢で滑って左手小指を捻挫した

・登山の準備をしていると宮崎のおじさんの車がやってきた。「一足お先に！」といって4時50分に出発、昨年より10分遅い出発だ。しかし再度ニペソツ山にチャレンジ出来て興奮したのか、登り口の沢で足を滑らせ躓いて、左手の小指を強打した。メチャ痛い！骨折はしていないようだが内出血を起こしている。こんなことで登山を中止することは出来ないので、タオルで冷しながら痛みをこらえて登り続けた。夜はすっかり明けて青空が現れ天気はまず申し分ない。小天狗までは林の中の登山道が延々と続き約2時間の登り。私の登りはゆっくりなので、後から来た宮崎のおじさんや、そのた2~3人にどんどん抜かれた。

・小天狗の岩場を越せば後は危険な箇所は無い、ただ登るだけだ。小天狗から少し下ると天狗のコレで、ここで長岡の3人に追いついて一緒になった。ここは小さなキャンプ地になっていて雪解けの水場があり、エゾコザクラ、エゾノツガザクラ、チングルマなどの花が咲いていて疲れを癒してくれる。ここからがニペソツ山への本番で目の前に山頂にうっすらと雲がかかった前天狗が大きくそびえて見える。



天狗のコレから前天狗



・ここ天狗のコレから山頂まで長岡の3人組と抜きつ抜かれつ一緒に登ることになった。





・前天狗を超え昨年荒天のため引き返したガレ場を過ぎ、しばらく登ると天狗平に到着した。



天狗平はガスがかかっていた



昨年はこのあたりで引き返した

・今朝登り始めは天気良かったのだが残念ながら山の上に来ると雲が出てきて、ここ天狗平も一面ガスに覆われてしまった。まずはここで一休み。あちこちでナキウサギの声が聞こえる。



天狗平



眼前のニペツ山頂は雲の中

・ここから大きく下ってから最後の急坂が控えており、まだ2時間近くかかる。天気は良いし花もきれいなのでそれほど疲れを感じることなく山頂を目指したが、目の前に聳えて見えるはずの山頂部分は雲の中に隠れてしまい見えない。振り返ると今下ってきた天狗平が大きく聳えて見える。やっと山頂が近くなり、山頂下の岩場に差し掛かるとナキウサギがいっぱいいて鳴いたりとび跳ねたりしている。写真を撮ろうとしばらく停滞したが、ナキウサギは忙しく動き回りじっとしていないので撮影が難しい。

回りは花がいっぱいだ。



ナキウサギを撮った





・そんなことをしながらのんびり登り約5時間かかって9時55分に念願のニペソツ山山頂に立った。



ニペソツ山頂は間近だ



・山頂から、南側のウペペサンケ山方面はガスがかかって展望が無いのが残念だったが北側の大雪山の方面は雲の切れ間から展望が開け、雪がべったりと付いた大雪の広大な山並み望まれた。雲間から差す太陽の日差しが心地よい。

・長岡の3人組と写真を撮り合ってから、バーナーを出して昼食にとりかかった3人に別れを告げて私はすぐ下山を始めた。



北東方向は雲が切れて展望が開けた

山頂にはエゾリソウやミヤマオダマキが可憐に咲いていて、優しく迎えてくれた。



エゾリソウ



ミヤマオダマキ

・先ほどナキウサギの写真を撮った山頂下の岩場で再度ナキウサギと戯れながら昼食を取り、帰る方向を見ると天狗平が陽を受けて威風堂々とそびえている。これからあの山を越えて行かねばならない。

こんなに長い道だったのかとあらためて確認しながら今朝登って来た道を延々と下り、3時前に登山口に辿り着いた。ほとんど休みなしで歩いたが約11時間の行程だった。

・登山口の駐車場では宮崎のおじさんが2時間近くも前に下りてきていたのに、なぜか私が下りてくるのを待っていたらしい。

「近くに露天風呂があるから一緒に行こう」



天狗平が威風堂々聳える

「今日は層雲峡で泊まりの予定なので申し訳ないが付き合えない」と。お気の毒に一人で露天風呂へ下って行った。

・私はゆっくりと沢の水で汗を洗い泥を落としてから層雲峡へと車を走らせた。念願のニペソツ山頂を征服できた達成感と長距離登山の疲労感で何ともいえず気持ちがいい。毎年お世話になっている層雲峡ユースホテルに4時半に到着。受付を済ませてから、今日のダート走行で砂だらけの車を洗車、次にコイン洗濯機で溜まっている汚れ衣類を洗濯してからようやく風呂に入れる。今日の風呂はホテル大雪7階の大浴場。毎年入るが綺麗で大きくて展望が良くてじつに気持ちがいい。ニペソツ山登頂の心地よい疲れを十分癒すことができた。

・今日のYHは外人（デンマーク人他）も数人いて、大勢の宿泊者で混雑していたが、夕食の食堂には日本人が7~8人しかいなくて寂しいくらいだった。みんなどうしたのかとおもったら「そうかYHは素泊り客が多いんだ」 君津・袖ヶ浦から来ているというおじさんといろいろ話しながら食事をした。結構日本の山を登っていて、すでに100名山は達成している。100名山の最後は幌尻岳だったという。ロング缶を2本空け良い気分ベッドにもぐりこんだ。9時前に就寝。